



西国名所図会

## 第11回テーマ:

### 名所図会から見た六甲山と神戸

#### 講演内容

- ①名所図会を読む
- ②名所図会に見る地域の変貌
- ③名所図会が教えてくれる  
二百年前の植生
- ④昔の里山は豊かだったのか?

実施日：平成16年2月14日(土)

午後1時～3時40分

場 所：六甲山YMCA 里見ホール



講師：田原 直樹さん

#### プロフィール

昭和28年生まれ 大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。専門は都市計画、環境計画。建設会社、青年海外協力隊等を経て研究者の道へ。現在兵庫県立人と自然の博物館主任研究員

### 灘区長もひょっこりご出席

寒さが和らぎ、六甲山YMCAの星野池の氷もほとんど溶けていました。開講時に灘区長の小川雄三さんがひょっこり顔を出され、皆驚きました。

里見ホールのマントルピースで焼き上げた焼き芋を頬張りながら、気軽に講演を聞ける雰囲気小川さんも感心されました。そして、発足した「灘百選の会」を抜かりなくPRされました。



灘区長 小川雄三さん

### 田原さんは異色の経歴の持ち主

田原さんは、青年海外協力隊でアフリカのマラウイに行かれてカルチャーショックを受け、建築会社の技術者から開発途上国の都市計画の研究に転進されました。そして「ひとはく」の設立時から運営に参画されています。自然が売り物の「ひとはく」では自然が一番遠い存在だと自称され、名所図会から植生の変遷を探るといふ比類のない研究をされています。

### 名所図会の「ひもとき」にビックリ!

「ひとはく」所蔵の「空飛ぶ絵師の鳥瞰図」が特徴の「西国名所図会」と、「摂津名所図会」を「旅行ガイド」に、200年前の江戸時代にタイムスリップしました。「江戸時代の裏六甲は樹木があったが、表六甲は禿山だった」という結論への、ま

るでパズルを解くような緻密な解析に一同が惹き込まれました。お寺と神社には当時の景観や植生が残っていること、湊川神社や生田の杜の変遷、明治維新から50年で市街化した神戸、失われた松原を探すなど、興味の尽きないお話でした。

### 冬季の市民セミナーにも確かな手応え

市民セミナーも11回を経ました。定員近くの参加者が集まって、お互いに交流を図りこれまで以上に盛り上がりました。六甲山の楽しみ方も板につき、参加者主体で運営するという取り組みも着実に展開していると、勇気づけられています。

八木さんには講演記録のテープ起こし、山口さんと山本さんには感想文を引き受けていただき、ありがとうございました。

### 参加の感想 あけびグループ 山口紀子さん

年が明け、はじめて六甲山に登ってきました。当日は日差しが暖かく感じられ、春の芽吹きも感じられました。名所図会を現在の景観と対比させ、ほぼ同じところも多いということにはとても興味深く新鮮な驚きでした。200年も前に描かれた図、時々何気なく目にするものも、こういった観点で見るととても面白いものです。生田神社の松ぎらいのエピソードや神戸の町並み等、名所図会と合わせて見ると楽しいものですね。歴史をたどるウォークをしてみたいです。

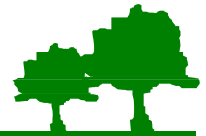
主催：六甲山自然保護センターを活用する会

後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館

灘区役所



# テーマ：名所図会から見た六甲山と神戸



## 第11回市民セミナーの流れ

### 市民セミナー

1. 昼食懇親：12:15～13:00
2. 挨拶案内：13:00～13:20
3. 講演：13:20～14:30
4. 質疑応答：14:30～15:10
5. 懇談会：15:10～15:40

### 講演

- ①名所図会を読む
- ②名所図会に見る地域の変貌
- ③名所図会が教えてくれる  
二百年前の植生
- ④昔の里山は豊かだったのか？



## 講演のあいさつ(田原 直樹さん)



名所図会とはどんなものなのかを知って頂きたいと思います。そこに描かれた地域がどのように変わったか、またその地域の山に生えていた植物がどのように変わったかをご紹介します。

## 講演内容

### 名所図会は現在の旅行ガイド

名所図会は、江戸時代中期に作られた名所案内記のことで、現在のガイドブックにあたる。大衆向けに作られ、たくさん普及したもので、やさしい文章や多くの挿絵などで構成されている。

次の「西国名所図会」と「摂津名所図会」の原本は、人と自然の博物館が所蔵している。

「西国名所図会」：屏風のように裏表に20枚位の絵がある。出発点は大阪の安治川で、船で瀬戸内海を二十箇所寄港しながら萩へ到着する。作者は五雲亭貞秀（横浜浮世絵の第一人者）で、鳥瞰図という上から見下ろした風景が得意で「空飛ぶ絵師」と呼ばれた。



西国名所図会

「摂津名所図会」：かなを用いて文章がたくさん書かれているのが特徴。複数の絵師が描いた挿絵もたくさんある。



摂津名所図会

### 二百年前の六甲山遠望と神戸

名所図会を見ると、自然状態、人の暮らし、景

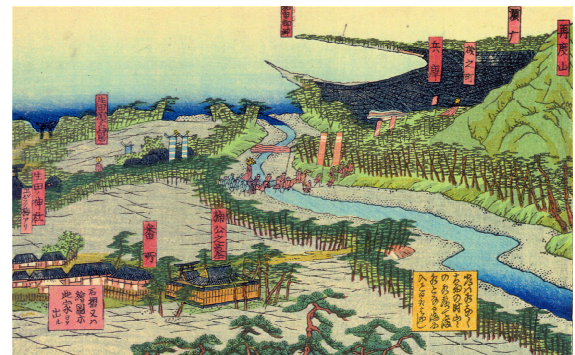


西国名所図会六甲山遠望

観などについて描かれた頃と現代の違いがわかる。大阪の安治川の川口から見た六甲山は、当時、武庫山と呼ばれていた。

大げさに強調して表現されているが、案外写實的に描かれている。何処から見て描いたのか判らないといわれるが、あちこちから見たものを合成したようで、全体としては想像図になっている。

次の図には湊川神社になった楠正成公の墓がある。当時湊川には、街道沿いと川の両側に松がいっぱい生えていたことが判る。楠公の墓や湊川神社の廻りは、全部田であったと読みとれる。



西国名所図会 湊川周辺

### 失われた松原を探す

江戸時代、鎮守の杜といえば松と思えば良かった。現在その松が残っている所が少ない。比較的松がよく残っているのは、住吉神社や西宮神社。広田神社は、非常に珍しい長い松の参道が今も残っている。昔の神社のイメージは、今の西宮戎神社みたいなものだった。現在、楠が中心になった鎮守の杜は、明らかに明治以降のものである。

### 二百年前から現在の植生への変遷

江戸時代の名所図会は「松の絵巻」といえるくらい、植物的観点から見ると松ばかり描かれて、松しかなかったと思われる程である。

ところが、松の世界がだんだん終わりつつある。大阪の市内にはとにかく松や名所がいっぱいあった。その名所を調べてみたら全然松がない。記述を見ると、昭和の初期まではあったが、ほとんど排気ガスで駄目になった。

里山に関しては、植生はむしろ良くなっている、と言ってよい。松は失われて、だんだん照葉樹林に変わりつつある。結果的に、生物の多様性としては高くなっている。だから「昔は、人手が入らなくて里山は豊かだったけど、人間が手を加えたから、だんだん貧しくなった」というのは、全体の話としては正しいのだが、江戸時代までの話としては、決してそうでなくて逆に植生は豊かになっている部分がある。

### 裏六甲は禿げていなかった？

禿げ山のように描かれている六甲山に対して裏六甲山は、斑点がいっぱい描かれている。斑点は樹木を表現しているとすると、六甲山の表は禿げていたが、裏は樹木がありそれほど禿げてはいなかったと解釈するのが一番理にかなっていると思われる。



### 田原先生から「実際に歩いて下さい」

名所図会に描かれているものが今どうなっているかを実際に訪ねて歩く「町歩きセミナー」を「ひとく」で行っていますので、興味のある方はご参加いただければと思います。(まとめ)

### 六甲の歴史がつながった

今年度の市民セミナーの講演では、万葉時代(第10回)、平安・鎌倉時代(第2・6回)、江戸時代(第11回)、幕末明治(第7回)、昭和初期(第3回)が語られた。六甲山に関する自然環境や生活文化の変化が見え、歴史がつながってきた。

### 懇談会

講演後の質疑応答では、なぜ今は松でなく楠なのか、名所図会の松は赤か黒か?その他名所についての話が交わされた。



初参加の西崎さん

### 参加の感想 山本 悟而さん

今回で3回目の参加となります。毎回素晴らしいお話に感動して満ち足りた気分で帰りのバスに乗っています。今日もまた驚きの連続でした。名所図会は当時の景観を知るための貴重な情報源であるということの他、多くのことを教えて頂きました。年1回くらいはもっと集まりやすいところで、六甲山自然保護センターを活用する会のPRも兼ねて市民セミナーを開催されてはいかがでしょうか。小人数で聴くにはもったいない話ばかりです。



### ◆参考・配布資料:

講演レジュメ、名所図会(カラーコピー)配布

### ~書籍紹介~

自然環境ウォッチング  
「六甲山」

兵庫県立人と自然の博物館  
「六甲」研究グループ・編  
神戸新聞総合出版センター



※現在講演記録を作成しています。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

### 町歩きセミナーのご案内

名所図会にある場所を実際に訪ねて歩く「町歩きセミナー」があります。大阪編:5月22日、6月19日、神戸編:10月16・30日、11月6・20日。

※詳細は下記の人と自然の博物館までお問い合わせください。

兵庫県立人と自然の博物館  
〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目  
TEL:079-559-2001 FAX:079-559-2007  
URL: <http://hitohaku.jp/> Mail: [root@hitohaku.jp](mailto:root@hitohaku.jp)

### 参加者の声 アンケートより

#### ◆セミナーの感想

- ・阪神間の歴史と植木の関係が理解できた。
- ・今後も自分で勉強してみたいと思う。
- ・今、名所図会が昔を知るためにこれだけ役立っていることに感動した。
- ・図会から見た松の植生は本当に貴重な話であった。
- ・江戸時代と現在の対比が特に面白かった。

#### ◆冬の六甲山の印象など

- ・前回是一片の雪だったが、今回は春を感じた。
- ・六甲山YMCAのペチカは心温まり、とても素敵。下界との温度差を実感した。
- ・冬の六甲山もなかなかいいなと思った。

#### ◆参加者:25名(順不同・敬称略)

田原 直樹	山田 良雄	山西 一平	高光 正明
兼貞 力	村岡 義博	三村 栄三郎	石田 澄子
青木 孝子	中務 勝子	山口 紀子	田中 弘子
白石 郁子	山本 悟而	山田 勇	八木 浄
小川 雄三	西尾 智明	杉本 和彦	西崎俊一郎
堂馬 英二	米村 邦稔	松井 光利	中川貴美子
菖蒲 美枝			